

受検番号
氏名

注意

一 問題は、表と裏にあります。  
二 答えは、すべて解答欄に記入しなさい。

表小計

合計

三 「万葉集」にある山上憶良のⅠⅡⅢの和歌とその解説を読んで、  
1～5の問いに答えなさい。

Ⅰ いざ子ども早く日本へ大伴の三津の浜松待ち恋ひぬらむ<sup>①</sup>

【解説】遣唐使としての任期を終える憶良が唐で詠んだ歌。

\*子ども…みなさん \*大伴の三津…遣唐使船の発着地

Ⅱ 憶良らは今は罷らむ子泣くらむそれその母も我を待つらむそ<sup>②</sup>

【解説】宴会から退出するときに、たわむれの挨拶として詠んだ歌。

\*憶良らは…わたくし憶良めは \*罷らむ…退出しよう

Ⅲ 世の中を憂しとやさしと思へども飛び立ちかねつ鳥にしあらねば<sup>③</sup>

【解説】世の中を生きる自分や人々の実情を見て詠んだ歌。

\*憂し…つらい \*やさし…耐えがたい  
\*飛び立ちかねつ…飛び立つことができない

1 恋ひぬらむ を現代仮名遣いに直しすべて平仮名で書きなさい。

2 ⅠⅡⅢについて 待ち<sup>①</sup> 待つ<sup>②</sup> 思へ<sup>③</sup> の動作の主体を次のア～オからそれぞれ選んで記号を書きなさい。

ア 子とその母 イ 子ども ウ 鳥 エ 松 オ 憶良

①	②	③

3 憶良らは今は罷らむ のように、おどけた表現をしたのはなぜか。その理由を次のようにまとめるとき、「A」「B」に当てはまる内容を、「A」には五字以内で、「B」には十字以内でそれぞれ書きなさい。

その場の雰囲気「A」ことで、宴会が「B」ように気遣ったから。

B	A

4 飛び立ちかねつ鳥にしあらねば において用いられている表現技法を書きなさい。

5 ⅠⅡⅢの和歌に詠まれた心情について、次のようにまとめた。それぞれ書きなさい。

Ⅰの和歌…遣唐使の役目を果たし、(a)を心待ちにする思い  
Ⅱの和歌…(b)と、周囲への気遣い  
Ⅲの和歌…苦悩に満ちたこの世を生きる人々への(c)

a	
c	